

日本比較文化学会第41回全国大会・2019年度国際学術会議プログラム

日本比較文化学会

〈提携学会〉

韓国日本文化学会

台湾日本語文学会

淡江大学村上春樹研究センター

台湾日本語教育学会

日時：2019年5月18日（土）

会場：同志社大学今出川キャンパス（京都市上京区）

<https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/imadegawa/imadegawa.html>

スケジュール：

8:45～9:30 理事会（寒梅館 6F 大会議室）

9:35～10:00 総会（良心館 RY305）

10:10～12:10 シンポジウム（良心館 RY305）

テーマ：「比較文化の教育と研究の新潮流」

13:00～16:10 研究発表（良心館 RY401～RY409）

16:20～17:10 講演（良心館 RY305）

阪田真己子先生（同志社大学文化情報学部教授）

「私たちはなぜ笑うのか—笑い研究の潮流と課題—」

17:10～17:15 閉会（良心館 RY305）

18:00～20:00 懇親会（「がんこ高瀬川二条苑」）

懇親会にご出席の会員は、5月10日（金）までに懇親会費の振り込みをお願いいたします。

会費 6,000円

振込先 南都銀行 平城支店 普通口座 0376423

日本比較文化学会関西支部 代表山内信幸（やまうちのぶゆき）

すべての教室においてパワーポイントが使用できます。データをUSBメモリなどに入れてご持参くださり、発表前の昼休み・休憩時間に設定をお願いいたします。Macを使用される場合は、接続用アダプターを各自でご用意ください。また、研究発表でレジユメを使われる場合は、20部をご自身でご用意ください。

シンポジウム

10:10～12:10 良心館 3階 RY305 教室

シンポジウムテーマ：「比較文化の教育と研究の新潮流」

司会：石崎一樹（奈良大学教授）

パネリスト：

1. 関東支部／東北支部より：
金塚基（東京未来大学准教授）
スポーツ観戦等における応援活動のあり方に関する比較教育的考察
—高等学校応援団の意味・役割に着目して—
2. 中部支部／関西支部より：
水町いおり（名古屋市立大学非常勤講師）
比較文化の重層性をフランス文学研究の新潮流に当てはめる
3. 九州支部／中国・四国支部より：
林裕二（西南女学院大学教授）
日本語と英語の翻訳比較による比較文化研究の潮流
4. 韓国日本文化学会より：
李有姫（韓国・大田大学非常勤講師）
人工知能時代における言語文化教育と未来への課題
5. 台湾日本語文学会より：
頼振南（台湾・輔仁大学外国語学部長／日本語文学科教授）
比較文化の教育と研究の新思潮：一冊の本から受けた啓発
6. 台湾日本語教育学会／淡江大学村上春樹センターより：
葉凌（台湾・淡江大学日本語文学科助理教授）
AI（人工知能）導入による台湾日本語教育・研究への期待

研究発表

前半：13:00～14:30

後半：14:40～16:10

【第1分科会：教育理論・教育実践】良心館 RY401

〈前半〉

司会：公文素子（高知大学非常勤講師）

1. 関口英里（同志社女子大学教授）
実践的学びとしてのプロジェクトプランニング
—未来に向けた地域活性化イベントを通して—

2. 藤山和久（広島経済大学助教）
「制御機構」が教育に及ぼす影響について
—高専生と私立大学生の比較調査—

3. 奥村訓代（高知大学名誉教授）
技能実習生と日本語
—高知と滋賀の比較から—

〈後半〉

司会：奥村訓代（高知大学名誉教授）

4. 陳帥（九州大学大学院博士後期課程）
ゼロ初級者向けの日本語学習プログラムの開発と試用
—地域日本語教室における参加型学習活動の試み—

5. 公文素子（高知大学非常勤講師）
初級日本語テキストとやさしい日本語から学ぶ防災対策

6. 林永彦（韓国・韓南大学校教授）・金泰永（韓国・江陵原州大学校教授）
日本の大学におけるサービスラーニング（Service-Learning）の導入実態と運営考察

【第2分科会：言語学・対照言語学・言語教育学①】良心館 RY402

〈前半〉

司会：山崎祐一（長崎県立大学教授）

1. 孫睿卿（同志社大学大学院博士前期課程）
中国人日本語学習者の聴解力向上のための一考察
—音素の弁別や語彙の意味理解と資格試験の関連性を中心に—

2. 嚴馥（慶應義塾大学非常勤講師）

日中両言語の色彩語の認知的差異

—「物名＋色彩語」を中心に—

3. 李岸（九州大学大学院博士後期課程）

日本語運用能力を高めるタスクベースシラバスの効果に関する実証研究

—中国の大学における日本語視聴説授業を事例に—

〈後半〉

司会：北林利治（京都橘大学教授）

4. 趙東玲（金沢大学大学院博士後期課程）

不同意表明会話における関係修復行動後の会話展開

—合意形成に向けた会話展開の日中比較—

5. 高橋栄作（高崎経済大学教授）

子どもによる読解時の音読と黙読による効果の検討

6. 山崎祐一（長崎県立大学教授）

異文化理解を視野に入れた内容重視の英語指導

—地域とリンクした取組を通して—

【第3分科会：言語学・対照言語学・言語教育学②】良心館 RY403

〈前半〉

司会：堀口誠信（徳島文理大学教授）

1. 橋尾晋平（同志社大学大学院博士後期課程）

英語教育における日本語母語意識の気づきの重要性に関する一考察

—初級英語学習者の言語転移の克服に向けて—

2. 河内健志（高崎経済大学非常勤講師）・高橋栄作（高崎経済大学教授）

日本人英語学習者の母語に関する明示的知識の利用に関する考察

3. 大谷鉄平（長崎外国語大学特任講師）

宣伝文に用いられる語句の商用的作用

—雑誌記事見出しにみられる「～ないと損」の場合—

〈後半〉

司会：山内信幸（同志社大学教授）

4. 小野遥香（同志社大学文化情報学部卒業生）

韓国人の人称表現使用に関する考察

—家族関係を中心に—

5. 陳志文（台湾・国立高雄大学教授）

副詞形「○○に」「○○的に」についての考察

6. 落合由治（台湾・淡江大学教授）

台湾における日本語とその表現文化の位相

—本土化を巡る機能をめぐって—

【第4分科会：文化・多文化理解①】良心館 RY404

〈前半〉

司会：林裕二（西南女学院大学教授）

1. 五十棲愛璃乃（京都外国語大学大学院博士後期課程）

学生結社オルデンとドイツの学生歌の緊密な関係性

2. 菅野瑞治也（京都外国語大学教授）

ドイツ語圏におけるフェミニズムの展開と決闘の衰退

3. 今野善伸（宇都宮大学大学院博士後期課程）

樹木葬 NPO 法人エンディングセンターにおける墓友の事例研究

—「都市型ネットワーク」を通じた会員間の試み—

〈後半〉

司会：金志佳代子（兵庫県立大学教授）

4. 森下一成（東京未来大学准教授）

沖縄県大宜味村における神アサギの形態上の変化について

5. 白須洋子（横浜商科大学特任講師）

茶の湯における「見立て」の手法とコミュニケーション

6. 松本きみゑ（大阪大学大学院博士後期課程）

茶書にみる茶道における人間形成

—「形のない文化」と「型」—

【第5分科会：文化・多文化理解②】良心館 RY405

〈前半〉

司会：鈴木宣行（創価大学教授）

1. 郭潔蓉（東京未来大学教授）
多文化社会における高度人材の獲得
—九州における留学生と企業をつなぐ事例研究から—
2. 東本裕子（横浜商科大学准教授）・白須洋子（横浜商科大学特任講師）
海外短期英語研修が学生に及ぼす影響に関する一考察
3. 頼錦雀（台湾・東呉大学教授）
多言語・多文化共生台湾におけるアイデンティティ

〈後半〉

司会：郭潔蓉（東京未来大学教授）

4. 邱若山（台湾・静宜大学教授）
宮脇俊三『台湾鉄道千公里』に見る異文化理解と紹介の方法
5. 鈴木宣行（創価大学教授）
セネガル・ダカールにおける民衆の思考法と日常生活上の価値観
—マンガ“Goorgoorlou”から読み解く生活規範と“夫と妻”—
6. JI-XIANG, YANG (National Sun Yat-sen University, Taiwan)
The Orientation of Asia Festival :
Solar Terms, Folk Custom, Culture Tradition, and Literature

【第6分科会：比較文化・外国文学・日本文学】良心館 RY406

〈前半〉

司会：丸橋良雄（神戸女子大学教授）

1. 上杉裕子（呉工業高等専門学校准教授）
最新書簡集2冊に見る詩人 Sylvia Plath の素顔と仮面
2. 原田寛子（福岡工業大学准教授）
「古い」を転覆させる：
Margaret Drabble の The Dark Flood Rises における終わらない生

3. 藤倉恵子（京都産業大学名誉教授）
ブリューゲルの『ゴルゴタの丘への行進』
—フーコーの指摘する〈癩者のまなざし〉との関連において—

〈後半〉

司会：伊藤豊（山形大学教授）

4. 堀秀暢（津山高等工業専門学校非常勤講師）
デジタルアリス

5. 都基弘（韓国・Hanbat 大学教授、早稲田大学・博報財団 第十三回「国際日本研究フェ
ローシップ」招聘研究者）
鎌倉時代の匙の文化史に関する一考察
—『厨事類記』を中心に—

6. 林盛奎（韓国・白石大学校教授）
『破戒』から『春』にいたる道

【第7分科会：日本文学・外国文学】良心館 RY407

〈前半〉

司会：中村友紀（関東学院大学教授）

1. 道合裕基（京都大学大学院博士後期課程）
岡本綺堂「蝶合戦」と山田美妙「蝴蝶」の間テキスト性について
2. 黄如萍（台湾・国立高雄餐旅大学准教授）
日影丈吉「猫の泉」論
—摂取の関係を兼ねて—
3. 范淑文（台湾・国立台湾大学教授）
村上春樹『神の子どもたちはみな踊る』にみる暴力
—「アイロンのある風景」及び「タイランド」を考察のテキストとして—

〈後半〉

司会：藤岡克則（大阪産業大学教授）

4. 葉菱（台湾・淡江大学助理教授）
AIによる文学研究の新潮流
—村上春樹の短編小説を例にして—

5. 何資宜（台湾・国立高雄大学助理教授）

太宰治「竹青」試論

—作品の裏表構造に潜む対中文化工作の影—

6. 曾秋桂（台湾・淡江大学教授）

グローバル時代のエコフェミニズムの視点から読む多和田葉子の『地球にちりばめられて』

—日本が消滅したことの真意について—

【第8分科会：比較文化研究①】良心館 RY408

〈前半〉

司会：白鳥絢也（常葉大学准教授）

1. 陳翰希（早稲田大学大学院博士後期課程）

三月三日・上巳の起源と伝承について

—日中比較民俗学の視点から—

2. 呉雪虹（台湾・高雄市立空中大学助理教授）

漱石漢詩と莊子

—題自画を中心に—

3. 李尚珍（山梨英和大学准教授）

日韓相互理解モデル・浅川巧

〈後半〉

司会：佐藤和博（弘前学院大学教授）

4. 張宇（大阪市立大学大学院博士後期課程）

日中の民間説話から読み取れるジェンダー観

—異類媚譚から考察する—

5. 金英（韓国・大邱韓醫大学教授）

森鷗外と伽羅

【第9分科会：比較文化研究②】良心館 RY409

〈前半〉

司会：三浦秀松（武庫川女子大学准教授）

1. 周聖來（横浜外国語学校アーキヴォイス顧問）

マカオの『知新報』から見る、梁啓超の東学（東洋の学問）影響下の新聞思想について

2. 小島明子（東京福祉大学大学院留学生教育センター基礎教育特任講師）

清末中国の雑誌『教育世界』における西洋文化の受容

—王国維周辺にもたらされたゲーテ資料を中心に—

3. Petra KARLOVA（Assistant Professor, Waseda University）

Karate for Life:

From the Experience of Sri Lankan and Japanese Karate Practitioners

〈後半〉

司会：梶原雄（同志社大学嘱託講師）

4. 岩佐托朗（大阪経済大学准教授）

日本的経営文化としての終身雇用制度

—ヨーロッパの学術的イメージの変遷において—

5. 高坂京子（立命館大学教授）

教育の視点からみたオランダと日本

—比較文化的考察—